

しみず温泉 フロイデへの 対応は

山岸政彦議員

しみず温泉フロイデについて、昨年12月に再開するとの新聞報道があったが、いまだその気配さえない状況である。

昨年、質問したときには、相手業者に文書で回答を求めても音沙汰がないというところであったが、その後、どのような対応をしたのか伺う。

高薄町長

現在、フロイデの温泉棟は休止しており、コテージのみ営業している状態だと聞いている。

運営会社には、温泉棟の営業再開に向けて、内容証明付きの文書を10回送付しているが、返答はない状況である。今までも弁護士と協議しながら対応してきたが、1日も早く対策を講じなければならぬと考えている。

高薄町政 3期12年の 検証と今後

山岸政彦議員

高薄町長は「健全な財政運営で思いやりを大切にしたい活力ある確かなまちづくり」をスローガンに、平成21年2月に3期目の当選を果たした。

この12年間で、財政の健全化をはかることに腐心され、確実にその実績をあげていることは素晴らしいことである。

平成23年度から第5期総合計画がスタートしたが、実効性を高めるために「まちづくり計画推進委員会」を設置するなど、町民参加のまちづくりを進めており、高く評価している。町長としての12年間の検証と、来年2月の町長選挙に向けての考えについて伺う。

高薄町長

平成13年の就任当時、町の財政状況は極めて悪化

しており、財政健全化をはかるべく決意し、町民の理解を得ながら、行財政改革に取り組んできた。その結果、現在では、健全財政への道筋がみえてきた状況である。

また、特別養護老人ホームの移譲をはじめ、商工会館の建設、市町村合併問題など、山積する課題にも取り組み、ここ数年は、御影診療所の整備改修、清水赤十字病院透析センターの増設、小規模多機能型介護施設への支援など、医療・福祉政策を重点的に進めてきたところである。

さらに多くの町民に町政に参画していただくため、まちづくり基本条例を制定し、各種委員を公募するなど、町民参加型の開かれた町政が実現できたと思っている。

今後、任期満了に向けては、現職としての役割を果たし、今一度将来を見据えながら、熟慮したうえで、しかるべき時期に判断していきたい。

委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、委員会は第4回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会 調査報告

学校教育の現状について

〔新学習指導要領への移行〕

新学習指導要領の完全実施は、小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から実施されている。各学校では、全教職員が一丸となり教育課程の編成を行えるよう教育委員会が支援を行い、スムーズに移行がされた。

〔武道の必修化〕

本町の場合は、両中学校とも保健体育担当教員が柔道の指導ができること、また、費用負担の少ないことなどから、柔道を選択したところである。

本年度の実施時期は、清水中学校が11月、御影中学校が来年2月を予定しているが、事前の準備を怠らず、安全面に十分配慮しながら、武道必修化の意義と目的を果たすことを望む。〔スクールバスの現状と今後の方針〕

スクールバスの保有台数は7台であり、それに町民バス1台を加え、計8台と、委託タクシー2台によって、13路線を運行している。

車両の購入にあたっては、補助金や地方債を利用することで、民間事業者が車両を購入するよりコスト面で削減できることから、町で車両を購入し、民間に委託していくのとことだった。日頃の車両点検が安全運行につながるため、車両保険をうまく利用し修繕を行い、子どもたちを安全に送迎することを望む。



スクールバスの運行状況や車両の状態等について調査を実施。